

平成25年度「第37回全日本少年サッカー大会」兼「第37回関東少年サッカー大会」

山梨県大会 開催要項

主 催	(公財) 日本サッカー協会 / (公財) 日本体育協会日本スポーツ少年団 / 読売新聞社
主 管	社団法人山梨県サッカー協会 4種委員会
後 援	日本テレビ放送網 / 報知新聞社 / 山梨放送 / 山梨県教育委員会
協 賛	日清オイリオグループ / 日本マクドナルド / ゼビオ / ゆうちょ銀行
特別協賛社	コカ・コーラ セントラルジャパン / YKK / 花王

- 開催日 地区予選 平成25年5月18日(土)～6月2日(日)
山梨県大会 〃 6月9日(日)・16日(日)・22日(土) 予備日・23日(日)
- 山梨県大会日程 6月 9日(日) トーナメント1日目 [下吉田第二小学校(2会場) 小瀬球技場(2会場)] (4会場)
16日(日) 準々決勝・準決勝 [小瀬補助・球技場] (2会場予備含む)
22日(土) 予備日 [会場未定] (1会場)
23日(日) 三位決定戦 10:00～・決勝戦 11:30～・閉会式 12:30～ [押原公園天然芝] (1会場)
- 運営担当 峡東・郡内 甲府【最終日は、役員および事業運営部員】
- 参加資格 ①日本サッカー協会4種及び5種登録済みのチームと選手であること。(複数エントリーは出来ません)
(12才以下の女子及び女子チームの参加も可能)
②スポーツ傷害保険に加入済みの選手であること。
- 大会規則
①(財)日本サッカー協会「8人制サッカールール」による。(一部ローカルルールを適用する。)
②選手の登録は16名以内、交代は8名以内とする。ベンチ入り人数は制限しない。全試合メンバー表を試合開始30分前までに提出するものとする。自由な交代を適用しリエントリーを認める。交代票は使わずにビブスで代用するが、事前に主審に通知した上での交代とする。
③ベンチ入り指導者は3名までとし、試合中の指示は一人(特定ではない)が立って行う。
④ベンチサイドは、組み合わせ表の番号の小さいチームがピッチに向かって左側。
⑤選手証の提示を必要とする。地区予選および中央大会1日目は会場当番チームがメンバー表に記載された氏名と選手証と本人を照合(1試合目のみ、照会后直ちに返却)し、2日目と最終日は事業運営部がメンバー表・選手証と本人を照合(全試合)する。選手証に不備(不携帯、写真不貼付等)があった場合は、当該選手またはチームは試合に出場できない。
⑥退場処分または累積警告3回を受けた選手は、次の1試合出場停止とする。審判報告書を使用して次の試合の審判に申し送る。退場者の補充をすることができる。地区予選の退場・警告は中央大会に引き継がない。
⑦競技者の用具は、「サッカー競技規則」およびユニフォーム規定に従う。シューズは固定式ポイントとし、すね当てを着用すること。
⑧山梨県大会ではシード方式を実施するため、各地区のシードチーム(1チーム)を決定しておくこと。
- 試合方法
①地区予選を行い山梨県大会を32チームで実施。トーナメント方式での試合とする。
②代表枠は、各地区の参加チーム数に比例させ、甲府9・峡北3・峡中9・峡東4・郡東3・郡南4の32チームとする。
③地区予選の日程及び試合形式は各地区に任せるが、6月2日(日)までに終了すること。
④山梨県大会の組み合わせは理事会で決定する。
⑤試合時間は20分-5分-20分とする。但し2日目を以降の試合で、同点の時は5分2回の延長戦を行い、決しない場合はPK戦方式により決定する。
⑥試合球は4号検定皮製ボールを使用する。(山梨県大会2日目及び最終日は4種委員会が準備)
⑦審判は、1人の主審と2人の副審と第4の審判員で行う。参加チームは必ず2名以上帯同し、審判着を上下着用しワッペンをつける。審判証の提示を必要とする。山梨県大会第1日目は別表割当てによる。2日目からは全て審判部が担当する。
- 上位大会への出場
①優勝チームは、全日本少年サッカー大会(8人制)への出場権を得るものとする。
②2位から4位までのチームは、関東少年サッカー大会(8人制)への出場権を得るものとする。
③5位から8位までのチームは、北関東少年サッカー大会(8人制)への出場権を得るものとする。(順位は抽選で決める。)
- その他 ①雨天実施とする。
②会場設営、試合・閉会式の運営等は、運営担当地区の責任のもとに行う。
③会場責任者は試合結果に誤りのないことを確認の上、試合終了後直ちに下記に連絡すること

■問い合わせ先

鈴木和幸(広報部長)	TEL・FAX 055-251-7164
委員長 石原幸周	090-4950-2300
大会責任者 宮下秀吉	090-3243-2581
大会責任者 小笠原一郎	090-2536-3160
大会責任者 末木一幸	090-1500-6063
大会責任者 志村祐	090-7412-7692
事業運営部長 三科健二郎	090-2255-1595

閉会式・表彰式

司会(運営担当地区)

- 成績発表 (事業運営部長)
- 表彰 (県サッカー協会、読売新聞社、日本スポーツ少年団)
- 特別協賛社賞発表・表彰 (コカ・コーラセントラルジャパン、YKK、花王、日本マクドナルド、ゼビオ、ゆうちょ銀行)
- あいさつ (県サッカー協会会長、読売新聞社甲府支局長)
- 講評 (県サッカー協会4種委員長)

全少・関東山梨県大会 大会規則<追記>

1 競技のフィールド

①フィールドの大きさ（タッチライン）は、68m、幅（ゴールライン）は、50mを推奨する。

（地区大会ではタッチライン60～68m、ゴールライン40～50mの範囲内で可能とする）

②その他のサイズは11人制と同様とする

2 競技者の数及び交代

①1チーム8人の競技者によって行われる。チームの競技者のうち1人はゴールキーパーとする。

②試合開始時に8人に満たない場合の試合は成立しない。その場合0-5の不戦敗とする。

③本大会は4人制審判で行うため、交代手続きはこれまで通り主審に通告し、アウトオブプレー中での交代とする。（交代ゾーンは設けない）

3 テクニカルエリア

①ベンチ入り選手の人数は問わないが、試合に支障が無いよう控え選手の後ろにベンチを設置する。

4 試合時間

①試合時間は前・後半とも20分間とし、ハーフタイムのインターバルは選手の休息時間を5分確保する。

5 PK方式

①山梨県大会での2日目（準々決勝以降）から勝敗が決しない場合、5分2回の延長戦を行い、なお決しない場合はPK方式において決する。（両チーム3人ずつの競技者がキックを行ったのち両チームの得点と同じ場合は、サドンデスとなる同数のキックで一方のチームが他方より多く得点するまで交互に順序を変えることなくキックは続けられる。）

②PKの進行中に、ゴールキーパーが負傷してゴールキーパーとしてのプレーが続けられなくなったとき、氏名を届けられている交代要員と交代することができる。

③上記の例外を除いて、延長戦のある場合はそれを含めて、試合終了時にフィールドにいた競技者にのみPKを行う資格がある。

④試合が終了し、PKを行う前に、一方のチームの競技者が相手チームより多い場合、競技者のより多いチームは相手競技者数と等しくなるように競技者数を減らさなければならない。

チームの主将は、除外するそれぞれの競技者の氏名と背番号を主審に通知しなければならない。これによって、除外された競技者はPKに参加することはできない。

6 警告・退場

①競技者が退場処分を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は、競技者が補充されようとしている間は試合を停止する。

②暑熱下において、前・後半中程に飲水タイムを採用する。